

限ニ委付セラレ會社ノ適法ニ定メタル規程ニ因ルノ外之ヲ制限ヲ受クルコトナク如何ナル規程ト雖モ其實施以前ニ於ケル取締役ノ行爲ヲ無効ナラシムルコトナシ 但本會社ノ投資ニ關スル決定ハ取締役ノ全員一致ヲ得ルニアラサレハ適法ト認メラレサルヘシ

第九十二條 取締役ハ左ノ特殊權能ヲ有ス

(a) 本會社ノ銀行業者、仲買人、訴訟代理人、書記役、書記、代理人及使用人ノ選任、解職及其義務并ニ俸給其他ノ報酬ヲ定メ是等ノモノヨリ擔保ヲ徵スヘキヤ否ヤヲ決スルコト

(b) 紋章ヲ決定シ印章ノ保管及其使用法ヲ定メ一八六四年會社印章條例ノ權能ヲ行使スルコト

(c) 本會社ノ有價證券ニ關スル設計、和解、調整ニ同意シ其設計ニ從ヒテ有價證券ヲ他ノ委員ニ預

託シ又ハ交換賣買利子取立其他ノ目的ノ爲メ之ヲ仲買人銀行業者其他ノ代理人ニ委任スルコト

第九十三條 總會ノ明示若ハ默示ノ同意ヲ得テ爲シタル取締役ノ行爲ハ會社ノ行爲トシテ有効ナリ否

ヤノ彈劾又ハ疑問ヲ取締役ニ對シテ提起スルコトヲ許サス

第十七章 取締役會ノ手續(略)

第十八章 取締役ノ執行費及報酬

第二百二條 一八九二年五月一日以降本會社ハ執行費用ノ一切ヲ負擔シ總取締役ハ其勞務ニ對シテ毎年

四千磅ノ報酬ヲ受ケ取締役間ニ於テ適當ニ配分スルモノトス

第十九章 配 當

第二百三條 本會社ノ純益ハ毎年取締役會ノ決スル所ノ額トシ投資ノ利益及割増付發行ノ場合ノ割増金並ニ會社業務ヨリ生スル一切ノ利益ヲ包含ス而シテ當該年度ニ於ケル利益ニ關シ及資本又ハ收益ノ何レニ屬スヘキヤニ關スル疑問ハ取締役會ノ決裁ヲ以テ最終トス

第二百四條 配當ハ株券ノ種類ニ依リ株券又ハ株ノ拂込金額ニ應シテ之ヲ支拂フモノトス但催告金ノ前拂額ニ對シテ配當ヲ爲スノ限ニ在ラス

第二百五條 特別ノ條件ニ依リ發行シタル株式資本所持人ノ權利ニ從ヒ毎年又ハ一定期間ノ純益ハ左ノ方法ニヨリ配當セラルヘシ

第一、優先株配當 殘餘金アラハ尙之ヲ附ス

第二、利益讓先普通株配當 殘金アラハ同シク之ヲ附ス

第二百六條 總會ハ株主ノ權利ニ應シテ之ニ純益中ヨリ配當ヲ爲スヘキ旨ヲ宣言ス但シ配當額ハ取締役會ノ決議ヨリ大ナルヲ得ス

第二百七條 純益ノ宣言又ハ配當決議前取締役會ハ會社ニ對スル要求若ハ偶然生スルコトアルヘキ責任

ニ備フルカ爲メ準備金トシテ一定ノ金額ヲ分離スルコトヲ要ス尙催告金ノ前拂額ニ對シ支拂フヘキ約定利息又ハ配當ノ支拂ニ備フル爲メ必要ノ金額ヲ準備スヘシ

第八條 取締役會ハ本會社ノ現況ニ對シ正當ナリト認メタルトキハ利益讓先普通株又ハ優先株ニ對シ假配當ヲ宣言シ之ヲ支拂フコトヲ得但シ其率ハ一年四分半ヲ超過スルヲ許サス

第九條 登録株券又ハ株ニ對スル當配金ハ横線小切手又ハ横線預リ證券ヲ以テ本人ノ危險ニ於テ之ヲ郵送スヘシ

第十條 登録株券又ハ株ニ對スル配當金ハ總會決議條ハ取締役宣言ノ當日當該株券又ハ株ノ所有者トシテ登録セラレ居ル者ニ屬シ之ニ對シ支拂フモノトス

第十一條 登録株券又ハ株ノ所有者ニシテ本會社ニ對シ債務ヲ負擔スルモノナルトキハ之ニ與ンヘキ配當ハ取締役會ノ選擇ニ因リ其債務ニ充當スルヲ得ルモノトス

第十二條 株券又ハ社債ノ未拂配當又ハ利子ニ付テハ利子ヲ附セサルモノトス

第二十章 準備金

第十三條 取締役會ハ配當平均會社ニ對スル要求又ハ會社ノ義務社債償却資金其他ノ目的ノ爲メ純益宣言前其利益中ヨリ適當ノ準備金ヲ設クルコトヲ得會社ハ總會ノ決議ニ依リ取締役會ノ認容ヲ

經テ其他ノ目的ニ該資金ヲ使用スルコトヲ得ヘク配當又ハ「ボーナス」ノ方法ニヨリ株主ニ配分スルコトヲモ妨ケス

第十四條 準備金ハ格別ノ有價證券ニ投スルノ必要ナク本會社ノ一般資金ト同シク運用セラルヘシ

第二十一章 資金ノ運用

第十五條 取締役會ハ本會社目論見書ニ從ヒ會社ノ資金ヲ運用投資スルヲ要ス但シ取締役會ノ全員一致アル場合ノ外買入又ハ取得當時ノ市場價格ヲ以テ計算シタル各株券、株又ハ債權證書ノ總額ハ本會社ノ株式及社債資本ノ十三分ノ一ヲ超過スルヲ得ス投資ヲ待ツ金錢ハ銀行又ハ割引會社ニ預ケ入ル、コトヲ得ヘク其預金ハ常ニ更新スルヲ得ヘシ

第二十二章 有價證券ノ保管

第十六條 特別ノ必要アル場合ノ外本會社ノ有價證券ハ取締役總員ノ名義ヲ以テ取引銀行又ハ取締役ノ適當ト認ムル保管所ニ預クモノトス登録有價證券ハ會社名義又ハ三名以上ノ取締役ノ名義ヲ以テ登録セラルヘシ取締役ノ名義ニ於ケル登録有價證券ハ取締役ノ變更アル毎ニ書換ヲ爲スヲ要ス

第一百七條 取締役ハ預ケ入レ有價證券ヲ検査シ其安全ヲ確認スルニ適當ナル規則ヲ設クヘシ有價證券ハ二人ノ取締役及一人ノ監査人之ヲ検査シ其結果ヲ取締役會ニ報告スヘシ取締役ハ期限到來ノ利札又ハ債券ヲ切り取り之ヲ蒐集スル爲メ取引其他ノ者ト適當ナル協議ヲ取結フヘシ

第二十三章 計 算

第一百八條 取締役ハ完全且眞正ナル計算ヲ作成スルヲ要ス

第一百九條 計算諸帳簿ハ取締會ノ適當ト認ムル箇所ニ保存ス、總會取締役ノ同意又ハ定款ノ規定ニヨルノ外取締役、支配人、検査人、他ノ役員、書記計算士、各一名ノ外本會社ノ帳簿計算證書又ハ書面ヲ檢閲スルノ權ナキモノトス

第二十條 少クモ一年一回取締役ハ總會前三ヶ月未滿ノ日附アル前年度ノ收入及支出報告ヲ總會ニ提出スヘシ

第二十一條 貸借對照表ハ毎年之ヲ作成シテ總會ニ提出スヘシ貸借對照表中ニハ適當ノ項目ニ列舉シタル會社ノ資産負債ノ現計ヲ示シ會社ノ投資及有價證券表ヲ添ヘ其謄本ヲ總會ノ日ヨリ七日前一般株主ニ發送スヘシ

第二十四章 檢 査

第二十二條 通常總會ハ毎年次年度ノ爲ニ二名ノ検査人ヲ選任シ其報酬ヲ定ム而シテ一八八九年度ノ通常總會開會迄ハ取締役ノ選任ニ由ル検査役ハ必スシモ株主タルコトヲ要セス中一名ハ専門ノ會計士タルヘシ

第二十三條 検査人ハ毎年總會前又ハ必要ノ時期ニ於テ本會社ノ會計ヲ検査シ貸借對照表ノ確實ヲ證明スヘシ

第二十四條 通常總會開催前検査人死亡シ職務執行ヲ拒ミ又ハ執行不能トナリタルトキハ取締役ハ別ニ検査人ヲ指名ス補缺検査人ハ前任検査人ノ殘存期間職務ヲ執行スヘシ

第二十五條 検査人ニハ株主ヲ以テスルヲ得レトモ株主トシテノ外本會社ト利害關係ヲ有スル者又ハ職務繼續中ノ取締役其他ノ役員ハ検査人タルコトヲ得ス

第二十六條 第一回ノ検査人ノ報酬ハ取締役ノ定ムル所ニ依ル

第二十七條 検査人ノ選任ナキトキハ商務局ハ五名以上ノ株主ノ請求ニ依リ其年度ノ検査人ヲ任命シ一年五十磅ヲ超エサル範圍内ニ於テ報酬ヲ定メ會社ヲシテ之ヲ支辨セシムルコトヲ得

第二十八條 検査人ハ貸借對照表及計算表ヲ以テ株主ニ報告ヲ爲シ其完全且眞正ナル貸借對照表ナリヤ否ヤヲ證言スヘシ

第二十五章 受託者、書記役、役員及社印

第二百二十九條 取締役ハ本會社ノ目的ヲ遂行スルニ必要ナル數ノ受託者ヲ定ムルコトヲ得其選任解任

報酬權限及賠償ハ取締役ノ定ムル所ニ依リ取締役ノ定ムル規程ニ基キ義務ヲ履行スヘシ

第三百十條 故意又ハ過失ニ基ク場合ヲ除クノ外受託者、検査人、書記役其他ノ役員ノ義務履行ニ伴

フ損失及費用ハ會社自カラ賠償スヘシ

第三百十一條 書記役ハ何時ナリトモ取締役ノ選任解任スル所ニ依ル

第三百十二條 書記役ハ取締役ノ指令ニ基キ會社ノ帳簿及會計書類ノ責任ヲ負擔シ通信ヲ處辨シ其他

取締役ノ要求スル義務ヲ履行スルモノトス而シテ帳簿及書類ノ閱覽ハ定款ニ依リ若ハ取締役會ニ

依リ認容セラレタル者ノミニ限ルヘキモノトス

第三百十三條 取締役ハ其共同ノ印章ノ安全ナル保管方法ヲ定ムルヲ要ス書記役ハ捺印書類ノ記録ヲ

保存スルノ責アリ

第三百十四條 社印ハ取締役會建議ノ權力ニ基ク外及ヒ少クモ取締役一名並ニ書記役ノ面前ニ於テ

ナスニアラサレハ文書ニ捺捺スルヲ許サス當該取締役及書記役ハ捺印セラレタル文書ニ各々署名

スルコトヲ要ス

第三百十五條 書記役ハ取締役會ノ定ムル所ニ依リ報酬ヲ受クヘシ

第三百十六條 缺員若ハ取締役ノ適當ナリト思考スルトキハ取締役ハ何時ナリトモ書記役ノ臨時代理

人ヲ選任スルコトヲ得ヘシ臨時代理人ハ選任ノ期間書記役ト看做ス

第三百十七條 グリン氏、ミルス氏、カリー商會、ユツクス商會ハ本會社ノ初度ノ取引銀行タリリント

ン氏クラーク商會ハ初度ノ仲買人、ノートン・ローズ・ノートン商會ハ訴訟代理人タルヘシ

第二十六章 通知

第三百十八條 法律定款又ハ其他ニ依リ必要ナル通知ハ使者又ハ郵便ニ依リ英王國內ニ住所ヲ有スル

株主ノ登録住所ニ宛テ之ヲ爲スヘシ株券預リ證書ノ所持人ニ對スル通知ハ倫敦ニ於テ發行スルニ

以上ノ日刊新聞紙上ノ廣告ニ依ル英王國內ニ登録住所ヲ有セサル株主ハ總會又ハ其他ノ手續ニ關

スル通知ヲ受領スル權利ナシ總會又ハ其他ノ手續ハ通知ヲ受領セサル株主ノ異議ニ由リ無効トナ

ルコトナシ

第二十七章 解散

第三百十四條 本會社解散ヲナスヘキ場合ニ於テハ清算人(任意又ハ官選)ハ臨時總會ノ認容ヲ經テ

會社財産ヲ株主ニ分配スルコトヲ得而シテ同様ノ認容ヲ經テ株主ノ利益ノ爲メ有益ナリト認ムル

信託契約ニ基キ受託者ニ本會社財産ヲ委付スルヲ得ルモノトス

株式申込者氏名、住所及、職業

ロムバルト町六十七番地
 ハイドパーク、グルーセスター区三十八番地 銀行業者 トーマス・フイックス
 東區フリート町百八十九番地 銀行業者 ハーバート・ブリード
 南西區ハンス街三十六番地 市長 エドワード・ミクレム
 南西區スタンポープ公園三番地 紳士 アーサー・クラーク
 コールマン町二十四地 訴訟代理人 ヘンリー・タートン・ノートン
 東區バーハロミウ、ハウス 株式仲買人 トーマス・ビユー・ウエグリン
 コブツール、ビルヂングス五番地 書記 役 フリッツバトリック・ブリード

一八八八年四月十三日

右ノ署名ヲ檢閱ス

倫敦コールマン町二十四番地

ノートン・ローズ・ノートン 商會書記 訴訟代理人 チャールス・スロツク

有限責任銀行業者投資信託會社

千九百十一年四月三十日附取締役報告書及計算書

公稱資本 三百萬磅

拂込資本 百八拾萬磅 社債ニ依ル資金九拾萬磅

會長

取締役

エドワード・ミクレム
 サイ・ハーバート・ビー・ブリード
 ジェー・ジョー・ル・マーチャント
 ジェー・イー・ヴァレ
 エフ・ブリード
 エツチ・エー・ミクレム

報告書

一九一一年五月十七日(水曜)正午倫敦市オールド、ブロード町ウンチエスターハウスニ於テ

開會セラルヘキ本會社第二十三回年次總會ニ於テ株主ヘ提出

取締役ハ一九一一年四月三十日即チ前會計年度ノ終期ニ至ル第二十三回年次報告書及計算書ヲ茲ニ提出ス

歳入ハ十三萬五千九百四十八磅七志二片ヲ示シ之ニ對シ本報告書歳入勘定細目ニ於ケル各項ノ支出ヲ控除スルトキハ九萬五千三百九十八磅一志三片ヲ殘シ之ニ前年度繰越金千六百六十六磅十八志五片ヲ加算スレハ總計九萬七千六百四十四磅十九志八片トナル此中ヨリ客年十月三十一日迄ノ假配當(優先株ニ付テハ一年四分半利益 讓先普通株ニ付テハ一年四分)三萬六千八百十五志ヲ控除スルコトヲ要ス

差引六萬四千四十六磅四志八片中ヨリ取締役ハ一萬五磅ヲ準備金ニ組入レ更ニ一九一一年四月三十日ニ至ル半ケ年ニ對シ優先株ニ年四分半利益讓先普通株ニ年六分ノ配當ヲ支拂ヒ殘額千五百五十二磅九志八志ハ次年度ニ繰越スコトヲ可決セリ

交代辭任ノ取締役ハサー・エッチ・ビー・ブリード氏及ジェー・ワレー氏ニシテ共ニ再選ヲ申出タリ有價證券ハ額面ヨリ小ナル買入價格ニヨリ貸借對照表ニ掲ケタリ

資本

本會社ノ拂込資本ハ四分半利付優先增加株九十萬磅利益讓先普通株九十萬磅ヨリ成ル四分利付永久デベンチユア・ストック發行額ハ九十萬磅ナリ

準備金額ハ前年度ノ報告書ニハ七萬四千七百八十四磅七志四片之ニ今年度繰入ルヘキ一萬五千磅及放資物件及債券ノ賣却利益勘定一萬五千五百二十一磅十四志十一片ヲ加算スレハ合計十萬五千三百六磅二志三片トナル取締役ハ之ヨリ有價證券費用二萬五千八百五十六磅十志ヲ控除スルカ故ニ準備金ハ現在七萬九千四百四十九磅十二志三片トナル

有價證券ハ本會社ノ取引銀行タルグリーン氏ミルス氏及カリー商會ニ預託セラレ二人ノ取締及検査人毎半年ニ検査シ其正確ナルコトヲ證明セリ

前年四月三十日ニ保有セシ有價證券表ハ本報告ト共ニ印刷ニ付セリ

検査人

次年ノ本會社検査人ヲ選任スヘク其報酬ハ本總會ニ於テ決定セラルヘシ現今ノ検査人ハプライス・ウオーターハウス商會ノジョーシ・スニース氏及モリシユ・グラント商會ノアーサー・ジー・モリシユ氏ニシテ何レモ適任ニシテ共ニ再選ヲ申出タリ

取締役ノ命ニ依リ

書記役 エフ・ブリード

千九百十一年五月八日

獨逸ノ部

第一、土地抵當銀行法 (Hypothekbankengesetz) 拔萃

第九章 受託者 Treuhänder

第二十九條 各土地抵當銀行ニ受託者并ニ代理人 *Bevollmächtigter* ヲ置ク

受託者ハ銀行ニ諮問シタル後監督官廳之ヲ任命ス任命ハ隨時監督官廳之ヲ取消スコトヲ得

第三十條 受託者ハ債券ニ規定上ノ引當存在スルカラ注意スヘキ任務ヲ有ス但此場合ニアリテハ貸付
上土地價格カ監督官廳ヨリ認許セラレタル鑑定規則ニ從ヒタルモノナル限り確定價格カ實際價格
ト一致スルヤ否ヤヲ審査スル權ナシ

受託者ハ債券ノ引當タルヘキ抵當權有價證券カ第二十二條第一項ノ規定ニ從ヒ抵當登錄簿ニ登錄
セラレタルヤ否ヤヲ注意スル任務ヲ有ス

受託者ハ債券上ニ其發行前規定上ノ引當及登錄簿ニ登錄アルコトノ與書ヲナスコトヲ要ス

銀行カ抵當登錄簿ニ登記セラレタル抵當權又ハ有價證券ヲ抹消セントセハ之ニ付受託者ノ同意ヲ
經サルヘカラス受託者ノ同意ハ文書ヲ以テシ登錄簿ニ於ケル抹消記入欄ニ受託者ノ名ヲ署名スル

コトヲ要ス

第三十一條 受託者カ登錄簿ニ登記セラレタル抵當權ニ關スル證書并ニ登錄簿ニ登記セラレタル有價
證券及第六條第四項ニ從フ債券ノ引當タルヘキ現金ヲ保管ス此等ノモノハ法律ノ規定ニ從フノ外
返還スルコトヲ得ス

登錄簿ニ登記セラレタル抵當權有價證券カ抵當權ノ引當タルニ足り或ハ銀行カ他ノ規定上ノ引當
ヲ作リタル場合ニハ受託者ハ銀行ノ請求ニ基キ抵當權證書有價證券并ニ現金ヲ返還シ登錄簿ニ於
テ抹消ニ參加スヘキ義務ヲ有ス銀行カ債務者ニ對スル抵當權證書ノ返還或ハ民法千四百四十五條ノ
行爲ヲ爲スヘキ義務ヲ有スルトキハ上記條件ノ存在セサルトキト雖モ受託者ハ證書ヲ返還スヘキ
義務ヲ有ス最後ノ場合ニ於テ抵當權カ償還セラレタルトキハ支拂ハレタル金圓ハ第一項ノ規定ニ
從ヒ之カ保管ノ爲メ受託者ニ引渡スヘシ

銀行カ單ニ一時ノ使用ノ爲メ抵當權證書ヲ必要トスルトキハ受託者ハ銀行ヲシテ他ニ引當ヲ作ラ
シムルコトナク證書ヲ返還セサルヘカラス

第三十二條 受託者ハ隨時銀行ノ帳簿書類ヲ檢閱ス但此場合ニ於テハ債券及登錄簿ニ登記セラレタル
抵當權ニ關係スル以前ニ渡ラサルコトヲ要ス

銀行ハ登錄簿ニ登記セラレタル抵當權ノ償還并ニ其他此抵當權ニ關シ債券所有者ニ重大ナル影響

ヲ及ホスヘキ變更ニ就キ受託者ニ繼續的ノ報告ヲナスヘキ義務ヲ有ス

第三十三條 受託者及土地抵當銀行間ニ生スル爭議ハ監督官廳之ヲ決ス

第三十四條 受託者ハ自己ノ行爲ニ對シ一定ノ報酬ヲ請求スルコトヲ得契約ニヨリ報酬ヲ定メタルト

キハ監督官廳ニ届出ヘシ兩者カ報酬ニ付一致セサルトキハ監督官廳報酬ノ額ヲ決ス

第二、信託會社ト監査役

第一 緒 論

監査役ハ會社ノ業務ヲ監査スル爲メニ設ケラレタル株式會社ノ一機關ニシテ我國ニ於テハ其權利義務ヲ商法第八十條乃至第八十九條ニ於テ規定ス

獨逸商法ハ我商法ノ母法ナリ從テ其監査役ニ關スル條規モ殆ント同一ナリ然ルニ近來獨逸國ノ學者及ヒ實際家ノ間ニ監査役ノ權利義務ニ付テ商法改正ヲ云々スルモノ出テ來レリ本問題ハ他國ニ起レルモノナルモ他日我國ニ於テモ經濟組織ノ變遷ニ隨伴シテ一度ハ當然ニ起ルヘキ問題ナラント信ス依テ其大要ヲ抄譯論評シテ他日ノ參考ニ資セントス

第一 獨逸國ノ信託會社

監査役ニ關スル商法改正ノ問題ノ起因ハ信託會社ニアリ故ニ本問ニ入ルノ前ニ於テ獨逸ノ信託會社ノ性質及ヒ其沿革ヲ略序スルヲ要ス

獨逸國ノ信託會社ハ其數ニ於テハ米國ノ夫レノ如ク其數甚タ多カラスト雖モ是等信託會社ノ創立ニ一種特色ヲ有シ之ニ原因シテ信託會社ノ勢力甚タ大ナルモノナリ夫レハ獨逸ニ於ケル有力ナル信託會社

ノ設立ハ悉ク伯林ニ於ケル大銀行ニヨリ日論見マシタルモノナルヲ以テ茲ニ所謂一種ノ特色ヲ發揮セリ

信託會社ト伯林ノ大銀行トハ其成立ニ於テ既ニ父子ノ關係アルヲ以テ其關係甚タ親密ニシテ相互相持ヲ相助ケ銀行ハ信託會社ノ嚴正周密ナル活動的營業ニヨリ自己ノ利益ト安全トヲ増殖保險シ信託會社ハ銀行ノ機敏ナル活動ニヨリ自己ノ營利目的ヲ完全ニ遂行スルヲ得ルノ仕掛ケトナリ居ルナリ

今其信託會社ノ營業科目ノ大要ヲ掲ケン

- 一、會社ノ諸計算帳簿及業務ノ一時的并ニ繼續的検査監督ヲナスコト
- 二、危險ニ陥リタル會社ノ救済、整理又ハ擔保權ノ保全ヲ爲スコト
- 三、有價證券所有者ノ爲メ其證券ニ表示スル權利義務一切ノ代理ヲ爲スコト
- 四、遺言又ハ契約ニ基キ各種財産ノ管理ヲ爲スコト
- 五、國家公共團體若クハ會社ノ委託ニヨル財務ノ代理ヲ爲スコト
- 六、株券債券ノ供託所トナルコト
- 七、株券債券ノ發行株主名簿ノ登録并ニ書替等ノ事務一切ヲ引受タルコト
- 八、會社ノ組織變更ニ關スル一切ノ事務ヲ處理スルコト

九、以上掲記ノ外一切ノ財務事務ノ代理ヲ爲スコト

以上列記ノ營業科目ニツキ信託會社カ其設立當時ヨリ現時ニ至ル迄閱歴シ來リタル活動ノ歴史ヲ序述スルハ甚タ興味アルコトナリト雖モ夫ハ監査役問題ノ範圍外ニ渡リ且ツ容易ノ業ニモアラサルニヨリ暫ラク監査役問題ト關係アル營業科目即チ三ニ付テ論セントス

「凡テノ營利會社ノ帳簿ノ一時的并ニ繼續的検査及監督ヲ引受クルコト」ハ信託會社ノ營業科目中最モ主要ノ一科目ニシテ此事業ヲ經營スルノ結果トシテ有價證券所持者ニ代リテ其權利義務ヲ代理スルコトヲ得ルノミナラス或ハ債券ノ保證ヲ爲シ或ハ新株式發行ノ引受ケヲ爲シ其目論見書ノ奥書ヲモ爲スコトヲ得ル次第ニシテ信託會社ハ此事業ニヨリ所謂實業社會ノ表裏ノ消息ニ最モヨク精通シ財界ノ波濤常ニ起伏極マリ無キノ間ニ處シ安心シテ其任務ヲ盡スコトヲ得ルナリ

然リト雖モ凡テ物ハ其初メニ於テハ世俗ノ信賴ヲ博スルコト能ハサルモノニシ蒸氣汽關電信電話等ノ發明ノ如キ今日ニ於テハ一日モ缺クハカラサル必要物トナリタルニモ拘ハラズ其發明ノ當時ニ於テハ或ハ兒戲トシテ輕蔑セラレ或ハ魔術トシテ排斥セラレタルト同様ニ信託會社ノ諸會社帳簿及損益計算ノ検査引受ケ事業モ當初ニ於テハ最モ多クノ困難ニ逢セリ蓋シ英國ニ於テ特許検査人ノ制度アルコトヲ熟知シ居ラサルコトナキ獨逸國民モ之ニ類似スル検査機關ノ採用ニ付テハ中々頑強ニ抵抗シタリシナリ其反抗ノ主タル理由ヲ掲ケレハ

第一、各個人ノ一般ノ性質トシテ自己ノ營業ノ内部ニ第三者ノ立入ルコトヲ嫌惡スルヲ普通トスル所謂一種ノ心理上ノ理由

第二、信託會社ノ検査人ハ果シテ其検査ヲ受ケル會社ノ凡テノ秘密ヲ洩漏セサルヲ得サルヤ否ヤヲ疑ヒタルコト

是ナリ

然レトモ信託會社ハ以上ノ嫌惡セラレヘキニツノ理由ニ打チ勝ツ丈ケノ熱心ト嚴正トヲ以テ其營業ニ從シタルヲ以テ千九百年以來ハ漸ク其事務發展ノ曙光ヲ見ルノ幸運ニ到達シタリ則チ千九百二年ニハ僅カニ二十七個ノ會社ノ検査ヲ委託セラレタルノミナルニモ拘ハラズ千九百四年ニハ己ニ七十個ノ會社ノ検査ヲ委託セラレ然カモ其検査ノ委託シタル會社中ニハ資産信用第一流ヲ占ムルモノ多キニ至レリ此時ヨリシテ信託會社ノ効果大ニ世人ノ認識スル所トナリ信託會社ノ検査監督ヲ受ケ居ル會社ノ株券債券其他ノ信用證券ハ皆其價值ト流通力ノ激増ヲ來スニ至リタレハ世ノ一般人士ハ會社ノ信用不信用ハ信託會社ノ検査監督ヲ受ケ居ルト否トニヨリ先ツ其概念ヲ定ムルカ如キ有様トナレリ從テ單ニ一時ノ検査監督ヲ依頼シタル會社ハ毎年一回又ハ二回各營業年度毎ニ検査ヲ受クルノ契約ヲ永久ニ訂結スルニ至リ未タ信託會社ニ依頼セサル會社ハ先ヲ爭フテ其検査ヲ依頼スルニ至リタリ

信託會社カ會社ノ資産負債ノ全状態ヲ検査スルハ其最初ニ於テハ之カ検査ニ對シ何程ノ勞力費用及責任ヲ要スルヤハ前以テ豫測スル能ハサリシヲ以テ其手数料ノ如キハ其實際要シタル費用ト日時ニヨリテ計算シタルモ其後屢々經驗ヲ累ネ第二回目ノ検査ヨリハ一定額ノ手数料ヲ申受クルニ至レリ而シテ此手数料ニ付テハ最初ハ屢々其多少ニ付キ相互ノ間ニ爭論ヲ生シタルコトナキニシモアラサリシカ現時ニ於テハ其検査ヲ受ケタル事カ社會ニ對スル信用ニ偉大ノ影響ヲ與フコトヲ實驗シタルヲ以テ手数料ノ多少ヲ論スルモノナキニ至レリ蓋シ検査手数料ハ一方ヨリ云フトキハ甚タ不廉ノ感ナキニシモアラサルモ他方ヨリ之レヲ觀レハ其検査ニ要スル役員ノ撰擇及養成ハ中々容易ノ事業ニアラサルノミナラス嚴正忠良ノ駿才ヲ得ルニハ又多額ノ費用ヲ要スルヲ以テ決シテ一概ニ之ヲ不廉ト云フ可カラズ況ンヤ其検査ヲ受ケタル結果其會社ノ信用ヲシテ時ニ或ハ九鼎大呂ヨリ重カラシムルモノアルニ於テヤ

以上陳述シタルカ如キ状態ニテ信託會社ノ營業ハ進歩發展スルト共ニ検査ニヨリ甚タ喜フヘキ種々ナル現象ヲ生シ來レリ

即チ帳簿ノ記載ニハ甚タ勉メタル所アルモ其帳簿ノ組織甚タ不完全ナルタメ如何ニ精細ナル記載ヲ爲スモ意外ノ處ニテ大欠缺ヲ爲シ居ルコトヲ發見シ全然新組織ニ改メシメタルコトアリ又信託會社ノ検査員ハ絶對且ツ永久ニ其検査シタル事項ノ秘密ヲ嚴守シタルヲ以テ検査人カ秘密ヲ守ラサリシト云フノ非難ハ今日ニ至ルマテ未タ一度モ之ヲ耳ニセサリシヲ以テ先ニ世人ノ懷抱シタル疑惑ハ全ク消滅ス

ルニ至リ又信託會社ノ検査カ之ヲ請ケタル會社ノ信用ニ如何ナル影響ヲ及ホスヤニ付テハ曾テ冷笑ヲ以テ之ヲ迎ヘタル人多カリシニモ拘ハラズ其後歲月ノ經過ト共ニ信託會社ノ實蹟著々トシテ顯ハレ委託契約ノ數ハ日々ニ増加シ秩序正シキ商事經營ハ事實ノ真相ニ通曉セル嚴正ナル信託會社ノ検査監督ヲ絶對ニ必要トストノ輿論益々社會ニ擴布セララル、ニ至レリ於是テカ信託會社ノ制度ハ創設日尙ホ淺キニモ拘ハラズ最早ヤ獨逸國民經濟ニ於テハ健全確實ナル永續的地歩ヲ占領シタルモノト斷言セサルヲ得サル境域ニ立チ至レリ

第二 獨逸法曹會ノ觀タル信託會社

近時信託會社及其營業トセル會社ノ検査事項ニ關スル問題ハ一般社會ノ注目スル所トナリ商法改正ノ一問題トナリ來レリ現ニ千九百六年十一月九日ヨリ十三日迄「キール」市ニ於テ開會セラレタル獨逸法曹會ハ株式會社ニ對シテ其營業年度毎ニ必ス損益計算ノ検査ヲ強制的ニ採用セシム可キ事ヲ論セリ而シテ其検査ヲ執行スヘキ人ニ付テハ個人的企業若クハ自然人ハ不適當ナリトシ信託會社ヲ以テ相當ナルモノトセサルヲ得サルノ傾キトナレリ從テ検査役ヲ如何ニスヘキヤノ連絡問題ヲ惹起スルニ至レリ

獨逸ニ於テハ其國民經濟上重大ナル關係ヲ有シタル検査役問題ハ國民經濟組織ノ發達ト共ニ最早何人

モ之ヲ熱心ニ研究スルモノナキニ至リタリ一時ハ或ハ之ヲ改良セントシタルノ說アリタルモ今日ニ於テハ最早検査役其者ヲ如何ニ改良スヘキヤノ問題ハ全ク其興味ヲ失ヒ一般ノ同情ハ非常ノ高度ヲ以テ信託會社ニ傾注セラル、ノ機運ニ再會シ一方ニ於テハ取引所法ノ改正、小切手法ノ施行帝國銀行法ノ改正等ニ關スル立法機關ノ適切ナル研究盛ニ識者ノ間ニ問題トナリ來リタル爲メ經濟組織上ニ於テ之ト最モ密接ノ關係ヲ有スル信託會社ヲ検査機關トスルコトニ付テハ益々大ナル興味ヲ以テ研究セラルルニ至リシナリ

又他方ニ於テハ經濟界ノ實際ノ情況ハ更ニ此ノ信託會社ノ問題ノ研究ヲ一層切實ナラシムルノ理由ヲ與ヘタリ何トナレハ千九百三年以來繼續シタル四ケ年間ノ經濟社會ノ順潮時代ニ於テハ支拂停止ヲ爲スカ如キ會社モ極メテ稀ニシテ總テノ會社ハ相當ノ利益ヲ收獲シ検査役ノ如キハ其責務ヲ盡シタルト否トノ事實ハ之ヲ問フノ必要ナカリシヲ以テ隨テ何等ノ問題モ起ラザリシカ千九百七年以後經濟社會ノ機運一轉シ金利ハ騰貴シ貨幣危機ハ生産危機ヲ産ミ人心恟々タルモノアルニ至リタリ而シテ現時ノ經濟組織ニヨレハ此ノ危機ハ先ツ以テ第一ニ株式會社ヲ襲撃スヘキコト事物自然ノ常規ニシテ若シ一朝此ノ恐慌株式會社ニ落下シ來ランカ忽チニ起ルヘキハ検査役問題ナルヘキハ識者ヲ俟タスシテ明ナリトス以上ノ理論上ト實際上ト必要ニ基キ茲ニ獨逸法曹會ノ討論問題ハ提出セラレタルナリ曰ク

商法ニ於テ株式會社ノ検査役ノ責任ハ尙ホ一層詳密ニ規定スルノ要ナキヤ否ヤ

此主要問題ハ冷靜ナル又事理ニ通セル頭腦ヲ持テル人々ニヨリ長時間討論セラレタリ而シテ其決議セラレタル結果ハ左ノ如キモノトナレリ

- 一、直ニ法律ヲ以テ會社ノ機關ニ干涉シ監査役ノ責任ヲ精細ニ定ムルノ必要存ストモ認ムル能ハサルモ尙ホ大ニ研究ノ必要アリ
 - 二、將來監査役ニ關スル條文ヲ改正スル場合ニハ其會社ノ定款及其會社ノ性質ニ鑑ミ適當ニ其監督義務ノ範圍ヲ規定スルノ要アリ故ニ此點ニ付テハ豫メ會社ノ定款ニ於テ一ノ會社事務監査ノ任ニ當ル委員ヲ置タコト、シ此ノ委員ハ此特別ナル監督義務ノ履行ニ付キ監査役ニ對シ責任ヲ負フモノトスルノ方法ヲ規定スヘシ
 - 三、百萬麻克以上ノ株式會社ニ對シテハ每營業年度ノ損益計算ノ検査ヲ強制的ニ受ケシムルノ必要アリ
- 検査ハ株主總會ニヨリテ選定サレタル信託會社ノ獨立セル検査人ニヨリ執行セラレ検査人ハ勿論其義務ヲ最モ嚴正ニ履行スルノ責ニ任スヘシ

第三 評 論

獨逸法曹會決議ノ三要點ヲ評論センニ

- 第一、ノ決議ハ時期ノ問題ニシテ獨逸國民經濟ノ現在及將來ニ付テ研究スル處ナクンハ其孰レカ果シテ是ナルヤヲ知ルヘカラス故ニ法曹會カ尙ホ大ニ解釋研究ヲ要スト決シタルハ其宜キヲ得タルモノト云ハサルヘカラス
 - 第二、現行獨逸商法ニ於テハ監査役カ如何ニシテ會社ノ業務ヲ監査スヘキヤノ方法ヲ定メス監査役ノ自由ニ一任ス然ルニ此決議ニヨレハ會社ノ性質及情況ニヨリテハ定款ニ監査義務ノ範圍ヲ定メ委員ヲシテ其監査義務ヲ履行セシメ此委員ハ他ノ監査役ニ對シ責任ヲ負フト云フコトニスヘシト云フニアリ監査役ノ採ルヘキ一方法トシテハ此手段モ決シテ不可ナルナカルヘシ然リト雖モ此等ノ事項ハ決シテ法律ヲ以テ干涉シテ定メシムヘキ事項ニアラス當事者ノ便宜ニ一任シテ可ナリ
 - 第三、信託會社ヲシテ検査監督ヲ爲サシムルコトヲ法律ヲ以テ強制セントス
- 是ハ英國ノ先例ニ基キタル發案ナルベシ英國ニテハ株式會社ノ損益計算書ハ必ス公ケノ検査人ノ検査ヲ受ケサルヘカラス即チ英國法ニヨレハ株主總會或ハ商務大臣ハ毎年若クハ數人ノ公検査人ヲ任命セサルヘカラス此検査人ハ其會社ノ次期ノ總會終了マテハ其職務ニ服シ常時會社ノ帳簿其他營業ニ關スル一切ノ事項ニ注目シ検査シ其會社ノ狀況及其實際報告ヲ株主總會又ハ商務大臣ニ提出セサルヘカラスト云フニアリ

二〇〇
獨逸ニ於テハ公検査人ト稱スル自然人ノ代リニ信託會社ト呼フ法人ヲ利用シ以テ會社ノ監査ヲ
嚴正ナラシメ以テ事業ノ興隆ヲ計ラントスルモノナリ

大正五年八月十五日印刷

大藏省銀行局

印刷者 小川 邦 孝
東京市京橋區瀧山町七番地

印刷所 東京製本合資會社
東京市京橋區瀧山町七番地

電話新橋(七九五番)
七九七番

326
164

終